

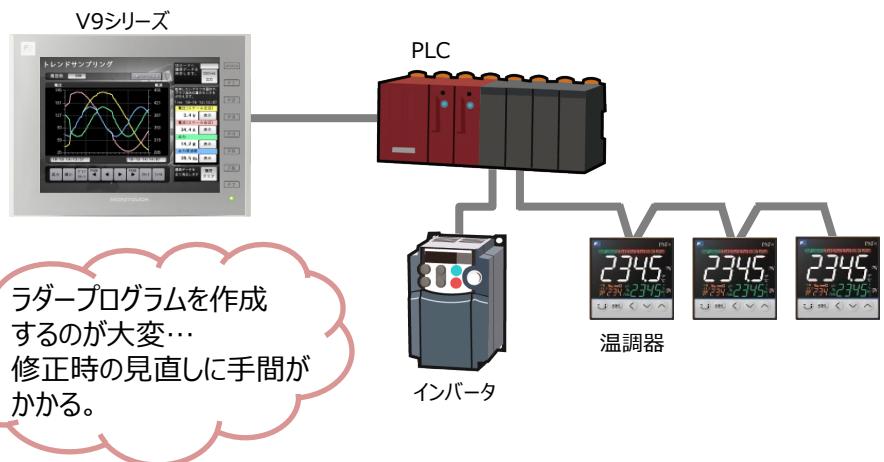
コストダウンと工数削減のご提案

- ・モニタッチの8Way通信で各種機器とダイレクト接続を実現！
- ・接続する機器を選択するだけで、プログラムレス接続可！

Before

各種機器と接続するため、PLC側に通信モジュールが必要になる。
しかも通信用のラダープログラムも作成する必要がある。

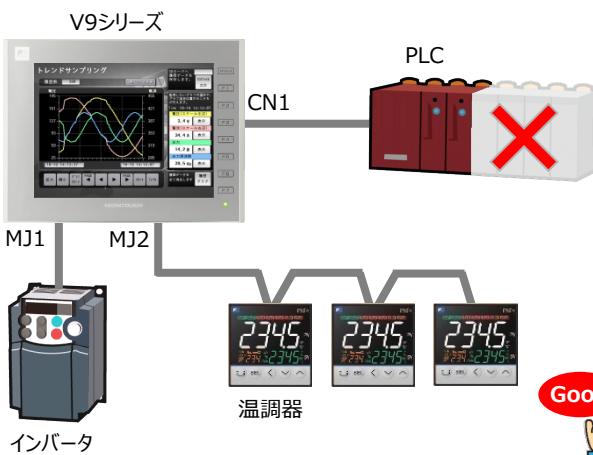
接続機器が増えると、
通信モジュールも
増えるのでコスト増。



8Way通信を使用すれば！

After

モニタッチに接続する機器を追加し、通信設定を合わせるだけで簡単に接続！



ポイント1



通信モジュール
モニタッチに直接接続できる
ので、通信モジュールが不要。
→コストダウン！

ポイント2

通信用ラダープログラムは作成不要。
→開発工数、修正工数削減！

ポイント3

モニタッチをゲートウェイとして、
接続機器間でデータの送受信可！

ポイント4

豊富なメーカー、接続機器に対応！

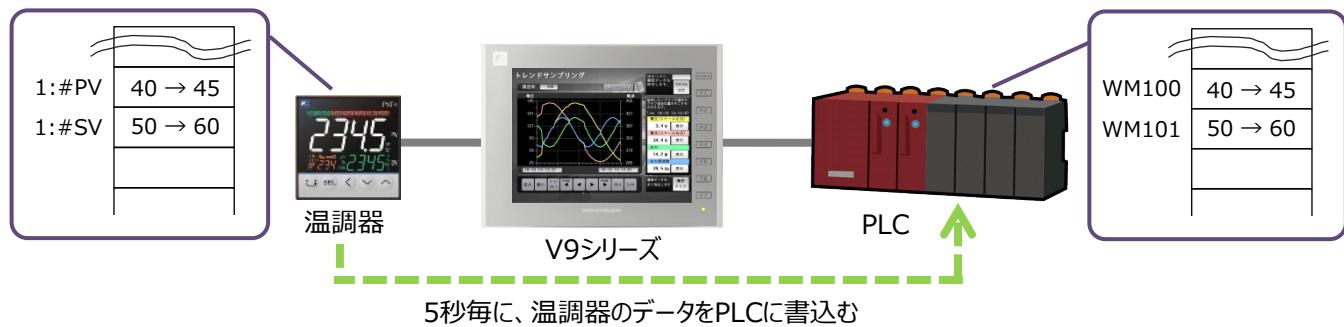
データの受け渡し方法について、詳しくは裏へ！！

転送テーブルで接続機器間のデータの受け渡しを実行

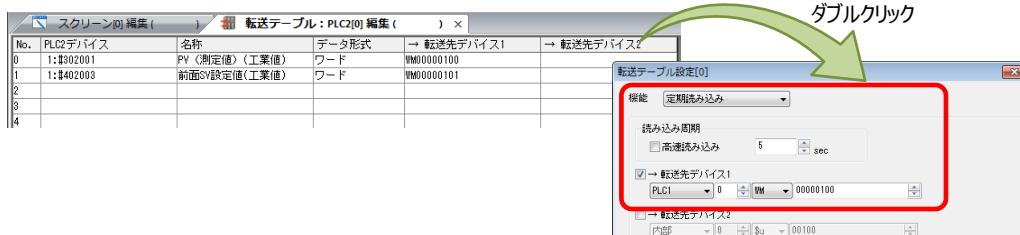
転送テーブルを使用すれば、転送元デバイスと転送先デバイスを設定するだけで、
シーケンスプログラムなしでデータを転送できます。

また、バックグラウンド処理で、画面の処理サイクルに影響を与えないため、**負荷が軽減**できます。
転送タイミングは、**定期**、または**PLCの指令**（トリガビットON）が選択できます。

例) 富士電機製PXFの“PV値”と“SV値”をPLCデバイス“WM100”以降に5秒周期で転送する場合

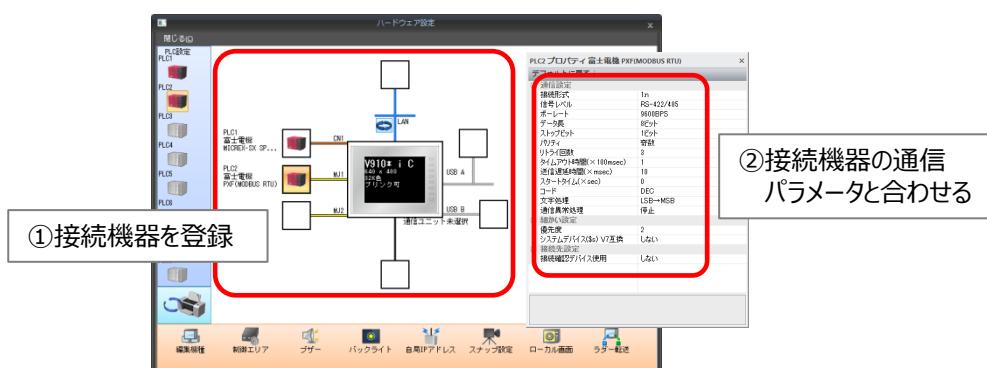


<転送テーブルの設定内容>



設定箇所

①「システム設定」→「ハードウェア設定」



②「システム設定」→「転送テーブル」

【連絡先】

発糸電機株式会社
モニタッチコールセンター

TEL
FAX
URL

: 0120-128-220
: 076-274-5208
: <http://www.hakko-elec.co.jp>